

吉川市国際友好協会事務局：吉川市役所市民参加推進課内
【TEL】048-982-9685 【FAX】048-981-5392 【E-mail】info@y-ifa.com 【HP】http://www.y-ifa.com

吉川市国際友好協会 2020年活動報告

平素は格別のお引立てを賜り厚く御礼申し上げます。
当協会はおかげさまで設立25周年を迎えました。
これもひとえに皆様方のご支援ご配慮の賜物と深く感謝しております。

ありがとう25周年!



25周年記念品 風呂敷

25周年記念品制作にあたり、何度も話し合いを重ねました。
当協会の掲げる「国際交流/異文化相互理解促進」のきっかけ作りにも一役買えるよう、
私達は和の要素を含む「風呂敷」を選びました。

奇しくも2020年は、新型コロナウイルスにより地球規模で辛く厳しい状況となり、「オリンピック」が延期となる異例の事態までもが現実となりました。平和な日常に思いを馳せ、
ささやかではありますが、明るく前向きな以下の言葉を記念品に添え完成を致しました。

日本中、そして世界中の人々が笑顔になる日を心から願って。

「Live, Love, Laugh & Learn! 2020」

生きよう、愛そう、笑おうそして学ぼう!

新規ご入会の方にはもれなく風呂敷をお渡しいたします。一緒に活動しましょう。



※国旗の並びは、市内の国・地域別外国人住民数を右上から時計回りで多い順に表示しています。
興味のある方は、国名をお調べください。(一番人口の多い右上の国旗はベトナムです。)

【にほんご教室】日本語に不慣れな外国の方を対象に、日本語学習のサポートを行っています。

現在は新型コロナウイルスの影響により、開催が変則的になっています。
最新情報はホームページ、または市役所市民参加推進課までお問い合わせ下さい。



※感染予防のため、
参加学習者にはマスク着用
手指の消毒、体温測定
(要 37.0℃以下)健康チェック表
への記入をお願いしています。



【日本語学習支援】

外国につながる子どもへの日本語学習支援を市教育委員会より依頼を受け行なっています。
令和2年度(2020年度)は、新型コロナ感染の影響で休校期間が明けた6月より市内小中学校29名の児童生徒に支援致しました。今年度も引き続き実施して行く予定です。

日本語教室立ち上げから今日まで活動されている 杉崎則子さんに当時を振り返って頂きました。

日本語教室への想い

今から20年近くを遡ってみると、当時、日本語教室を始めるというのは、とても大きな課題でした。「日本語教室を始めるにあたり」の題目で3回講座を設定しましたが、難題が多く落ち込んでいく気持ちを感じていました。

ボランティアの範囲でどのくらい出来るのか?どのように周知するのか?教材は?考えれば考えるほど無理...と思う反面、何もしないでやめてしまうことは出来ない、決意に近い気持ちがあったと思います。それから間もなく、理事が全力で「日本語教室」を立ち上げました。国籍を問わずコミュニケーションをとれる場があり、真剣に、時には笑い声が聞こえるほど楽しく日本語が学べる日本語教室が吉川市にあります。気持ちや言葉が通じると人は笑顔になります。



児童生徒の日本語支援を続けて

「小中学校外国籍児童生徒のための日本語支援」は、一本の電話から始まりました。中国籍の男子生徒が悲しそうに訴えているが、事情が分からなくて対応に困っているとのことでしたので、詳しく話を聞きに行きました。当時は外国籍の子どもは少ないこともあり、日本語支援の必要性を理解してもらうのが難しいと感じていました。日本に来ることになった児童生徒の受け皿を作りたいとの思いを、国際友好協会が後押しをしてくれました。しかし、始めた頃は依頼の無い年が続き不安定でした。近年では、外国籍の児童生徒が増えてきたこともあり、教育委員会からの受託事業として活動しています。現在支援スタッフは十数名、みんな生徒一人一人の気持ちに寄り添いながら「頑張れ!」と心の中で応援しています。

杉崎さんは絵本の製作も得意で「吉川むかしばなし第2集」の「中井沼のカップ」でも中心となって活躍されました。

【ワークショップ:人権セミナーについて】

2020年12月、「ワークショップで体験する外国人の人権」を開催。全員市内在住のベトナム、タイ、



ロシア、中国、韓国出身の5名の講師が、それぞれ5つのテーブルに分かれ活発な意見交換を行いました。吉川市には1737名の外国人が暮らしています。実際に外国人の方とお話すると生活習慣や文化の違いが分かります。違いが分かれば多くのトラブルを回避できる可能性があります。まずは相手を良く知る事。そして興味を持つ事。誰もが住みやすいまちになるようコツコツ活動を続けていきたいと思っています。

【人権セミナーに参加 ~ロシア出身ミロノバ アナスタシアさんにインタビュー~】



~~~~~

来日13年、吉川に来て8年目を迎えます。初めて日本に降り立った日は、暗く灰色の空が広がる雨模様。顔も言葉も全く違う異国の地...当初は不安いっぱいでした。吉川で生涯の伴侶と出会い、子供を授かり現在は3人で楽しく暮らしています。



吉川子育て支援センターにて読み聞かせのボランティアをしているアナスタシアさん

### Q1) なぜ日本に来たのですか?

日本は先進国。経済的にも医療も安定していて明るい未来があると思い選びました。

### Q2) 日本の好きなところは?

日本食、特に、焼きそば/お寿司/肉じゃが/豚汁等。日本の文化も着物も大好き。

### Q3) 日本で不思議だと思うことは?

肉や魚料理に砂糖をいれること。ロシアでは、肉魚料理に砂糖は入れません。今では冷蔵庫にレシピを貼り、日本の煮物料理にもトライしています!

### Q4) 日本で困った経験はありましたか?

来日当初、日本語が全く分からないので、コミュニケーションが上手く取れず自宅にこもり寂しい思いをしていました。

### Q5) 人権セミナーに参加していかがでしたか?

「日本人は外国人に対して壁がある」とよく聞きますが、私は、壁はないと思います。「キープ ディスタンス(距離を保つ)」精神はあると思います。英米国だけでなく、お隣中国・韓国、ロシア、アジア、アフリカ等、世界にオープンハートな日本人が増えていっていると感じます。国籍を問わず、お互いを信じ、笑顔で話しかけもっと仲良くなって欲しいなと感じました。参加できて良かったです。



## 【会長あいさつ】

吉川市国際友好協会は1995年7月に発足し25周年を迎えました。

当初は、姉妹都市米国オレゴン州レイクオスエゴ市との交流が主な事業でしたが、市内の外国人移住者の増加に伴い、市内での活動も増えてきました。外国の料理や文化を紹介する講座やパーティー、2002年からは日本語教室が始まりました。そんな長年の活動が認められ、昨年の県民の日には、「心のふれあいを深める活動」の一団体として、シラコバト賞を受賞、また今年2月には吉川市より文化功労表彰を頂きました。



これまで活動に携わってくださったスタッフの皆様、会員の皆様のおかげと深く感謝申し上げます。これからも多文化共生の地域づくりの為、会員の皆さまと共に歩んでいきたいと思っております。

今後ともよろしくお願いいたします。

会長 立澤秀子

## 【海外交流部会より】

新型コロナウイルス(Covid-19)の感染拡大により、姉妹都市である米国オレゴン州レイクオスエゴ市への青少年親善訪問は2020年3月に引き続き、今年3月も中止となりました。米国では感染拡大が収まらず、同市の学校はすべての授業がオンラインにより実施されているようです。このような状況下、現地の高校で日本語クラスを担当しているダイバース典子先生から YIFA に対し、吉川市の生徒と手紙による交流を授業の一環として取り入れたい旨、申し入れがありました。市とも協議のうえ、その申し出を受け入れることとし、昨年10月下旬には28名の高校生作成の手紙(日本語・英語・写真がセットとなった自己紹介書)が E メールで送られてきました。



私はレイクオスウィーゴへ2回訪れたことがあります。みなさんがとても親切でフレンドリーだったので、楽しかったです。現在、日本では、「鬼滅の刃」が大流行しています。とても感動的なストーリーなので、おすすめです。ぜひ読んでみてください。



吉川サイドでは、2019年にレイクオスエゴ市を訪問した生徒、2020年春に行く予定で直前にキャンセルとなった生徒等に声をかけたところ15名の生徒より応募がありました。YIFA でレイクオスエゴ市生徒と吉川の生徒をマッチングし、同様の手紙(英語・日本語・写真の自己紹介書)を作成、11月末にダイバース典子先生に返送しました。さらに今年1月には8名の生徒の新たな資料が届き、吉川市の生徒8名を追加募集のうえ返答しました。

一部生徒間では2回目以降の更なる交流も行われており、友好が深まっています。

## 【会員募集中】

年会費 個人 3,000 円 学生 1,000 円 家族 5,000 円 団体 7,000 円 法人 10,000 円 (1 口)

★会員証提示で特典(割引)が受けられる協力店のご紹介★

本場インド料理シルジャナ・・・ランチタイム100円OFF デイナータイム10%OFF

刺身・地場野菜 海鮮居酒屋よしだ家・・・10%OFF

すべてのお問合せ先 吉川市国際友好協会事務局(吉川市役所市民参加推進課内)

【TEL】048-982-9685【FAX】048-981-5392【e-mail】info@y-ifa.com